

市内米軍施設に係る主な経過について

－平成20年1月以降の主な経過－

平成20年

1月17日 基地対策特別委員会視察（鶴見貯油施設、横浜ノース・ドック、根岸住宅地区）

1月25日 基地対策特別委員会

議題1 その後の経過について

・平成19年11月以降の主な経過

・跡地利用に関する現在の検討状況

〔・旧小柴貯油施設の跡地利用の基本的方向性

・深谷通信所を対象とした跡地利用に関する提案公募事業の方向性〕

2月21日 本会議 予算代表質疑

2月22日 本会議 予算関連質疑

2月29日 根岸住宅地区 民間土地所有者を対象に「現地見学会、懇談会」を開催

3月1日 （都市整備局と共催、計40人参加）

※ 土地所有者の組織化を目指し、引き続き、意見交換の場を設けていきます。
（次回、6月開催予定）

3月4日 予算第二特別委員会（都市経営局審査）

3月19日 予算第一・予算第二特別委員会連合審査会（総合審査）

3月19日 パンフレット「横浜市と米軍基地」を発行

3月25日 本会議 予算議決

3月26日 深谷通信所跡地利用に関する提案公募事業（アイデアコンペ）企画書

※ 開港150周年にあたる21年度の実施を目指し、事業の実施主体となる実行委員会を早期に設立し、募集要領等の実施計画を20年度中に策定していきます。

3月28日 南関東防衛局が「旧小柴貯油施設土壌汚染調査（概況調査）」に着手

（工期 ～12月25日、19年度は資料等調査を実施）

- 4月10日 基地対策特別委員会視察（横須賀海軍施設）
- 4月16日 「小柴貯油施設 跡地利用基本計画」「市民意見募集」を発表
- 4月17日 金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会
- 5月1日 広報よこはま市版5月号に「市民意見募集 旧小柴貯油施設（米軍施設跡地）の利用計画について」を掲載
- 5月2日 小柴貯油施設跡地利用基本計画について「市民意見募集」を開始 資料1
（募集期間 ～6月13日）

政府等への要請

- 3月3日 神奈川県及び厚木基地周辺市とともに「厚木基地における夜間連続離着陸訓練（NLP）の中止等について（要請）」を提出
- 3月24日 南関東防衛局長あて「鶴見貯油施設の護岸補強工事について（要請）」を提出
- 4月7日 神奈川県基地関係県市連絡協議会（県市協）として「米軍人による殺人事件について（要請）」を提出

旧小柴貯油施設（米軍施設跡地）の利用計画について

市民意見募集

平成 20 年 5 月 2 日（金）から 6 月 13 日（金）まで
ご意見をお寄せください。



旧小柴貯油施設は、金沢区東部に位置する面積約 53 ヘクタールの米軍基地の跡地です。戦前、旧日本軍により艦船燃料の貯蔵基地として建設され、戦後は米軍が航空機燃料の備蓄基地として使用していましたが、平成 17 年 12 月に返還されました。

これまで横浜市では、市民の皆様のご意見を伺いながら、「米軍施設返還跡地利用指針（平成 18 年 6 月）」や「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画（平成 19 年 3 月）」を策定し、旧小柴貯油施設を都市公園（開港 150 周年の森）として整備することを掲げました。

今回、公園整備に向けて、跡地利用に関する基本計画をまとめました。今後、更なる具体化に向けた検討を進めていくに当たって、基本計画に対するご意見を募集します。

跡地利用の基本的な考え方

- ①市民参加による森づくりを進め、跡地全体を都市公園「開港150周年の森」として整備します。
- ②現在の緑を保全すると共に失われた緑を再生します。
- ③環境行動の支援やきっかけづくりに関する機能の導入を検討します。
- ④広場ゾーンは、芝生広場や水辺空間など、現在の環境を活かした多目的な空間づくりを進めます。
- ⑤太陽光などの自然エネルギーを積極的に導入します。

植樹等による緑の回復を図りながら、周辺の公園や緑地等との緑の連続性を強化します。また、森づくりのスタートとして、開港150周年を迎える平成21年に、市民参加による植樹が実施できるよう、関係機関との調整を進めていきます。早期の利用が出来るよう、整備が完了した箇所から順次オープンしていきます。



旧小柴貯油施設の現況

- 所在地
横浜市金沢区柴町、長浜、幸浦二丁目、並木三丁目
- 面積
約52.6ha (うち国有地97%、民有地2%、市有地1%)
- 現地の状況
 - ・西側から東側に向かって傾斜した丘陵地であり、最も高い地点と最も低い地点の標高差が約80mある起伏の多い地形となっています。
 - ・タンク類が地上・地下合わせて34基存在しており、そのうち地下タンクは29基あります。地下タンクは大きなもので、直径38m、深さ29mです。
 - ・敷地の約6割は斜面緑地(左図の黄緑部分)となっており、まとまった平坦部は東側の低地部と敷地中央に分布しています。
 - ・東側は、旧海岸線の名残であるがけ地となっています。
 - ・現地調査では、希少種等の生息や営巣は確認されていませんが、南側の水路にはホタルが生息しています。
 - ・長浜水路沿いには、約1kmにわたり、かつてパイプラインが敷設されていた幅約3mの跡地があります。

アンケートにご協力ください。
※裏面記載のホームページでも回答を受け付けています。

問1～3の質問について、平成20年6月13日(金)までに、この葉書でご回答下さい。(当日消印有効)

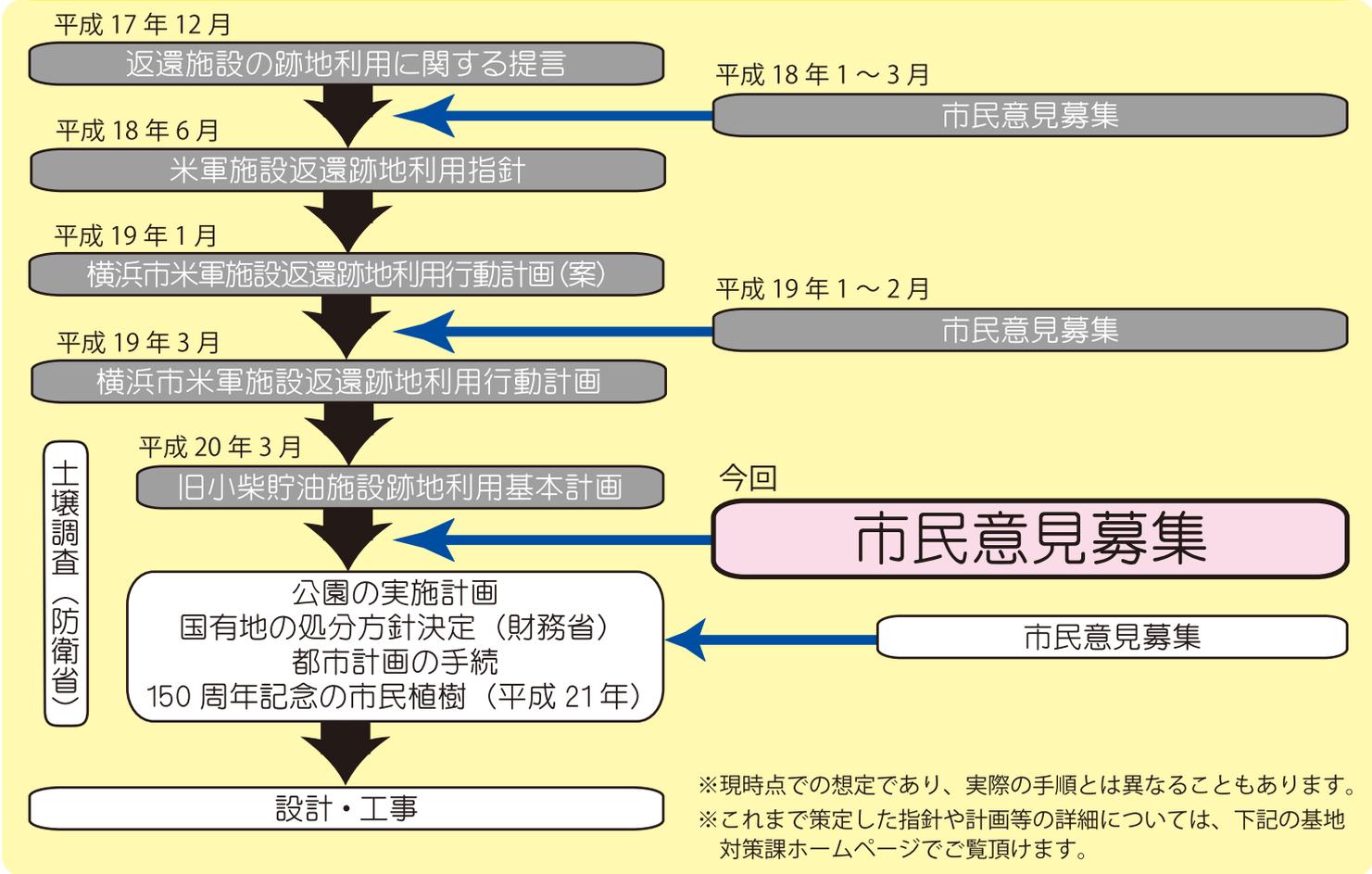
- 問1 跡地利用の考え方について(該当するものに○)
- ①広場ゾーンは、芝生広場など多目的な空間として整備することを基本とします。
良い・どちらかと言えば良い・普通・どちらかと言えば悪い・悪い
 - ②「緑の保全・再生空間」の一部では、保全すべき植物等が生育する部分を除いて、人々が散策できるようにします。
良い・どちらでも無い・人は入れず現在のままにすべき

問2 地球環境ゾーンでは「人々が環境に配慮した行動を起こすきっかけ」となるような機能の導入を検討していきますが、ゾーンの活用についてご提案がありましたらお書きください。

問3 その他、旧小柴貯油施設の跡地利用についてご意見がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

これまでの経緯と今後の進め方



< 切り取り線 >



郵便はがき

2 3 1 8 7 9 0

0 1 7

横浜市中区港町 1 - 1

横浜市都市経営局基地対策課 行



- お住まい
横浜市 () 区 ・ 市外
- あなたの年齢
10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上
- あなたの性別
男 女

アンケートについては、下記の基地対策課ホームページにおいても募集しています。

いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。なお、個々のご意見に対しての回答は致しませんので、あらかじめご了承下さい。

いただいたご意見を紹介させていただく場合は、情報の取り扱いには十分注意し、個人が特定される内容の記載は致しません。

発行・お問い合わせ
横浜市返還施設跡地利用プロジェクト
〔事務局〕
横浜市 都市経営局 基地対策部 基地対策課
TEL : 045-671-2168 FAX : 045-663-2318
〒231-0017 横浜市中区港町 1 - 1
e-mail : ts-kichitaisaku@city.yokohama.jp
URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kichitaisaku/>

